＜記号の見方＞
難易度（その学校の受験生にとってのレベル） A･･･標準　　B･･･難しい　　C･･･とても難しい
要求される能力　A･･･処理能力（多量速解型学習で対応できる問題） B･･･思考力（少量熟考型学習でないと対応できない問題）
目新しさ　A･･･普通　　B･･･目新しい　C･･･斬新

学校名　フェリス　時間45分				
	分野	難易度	要求される能力	目新しさ
大問1　(1)	割合	A	A	A
(2)	数の性質	A	A	A
(3)	割合	A	A	A
(4)	場合の数（道順）	A	B	A
大問2	条件整理（平均）	B	B	B
大問3	文章題（つるかめ算）	A	A	A
大問4	平面図形（複合図形）	A	B	B
大問5　(1)	文章題（割合）	A	A	A
(2)	文章題（割合）	A	A	A
(3)	文章題（割合）	A	A	A
大問6　(1)	条件整理（数の性質）	B	B	B
(2)	条件整理（数の性質）	B	B	B
(3)	条件整理（数の性質）	B	B	B

昨年度の問題との比較
レベル　↓　合否に必要な得点率65％

合格最低点　非公表

コメント
易しいのは大問1、3くらいであとはそれなりに手ごわい問題ばかりです。
大問1　難問はありません。必ず4問とも正解しましょう。
大問2　問題文を読み誤るととんでもない難問になってしまいます。とまどった場合には一旦とばしましょう。
大問3　ひとひねりあるつるかめ算ですが、難しくはありません。
大問4　近似値を利用して解く問題はフェリスではよく出されます。
　　解き方によって答えの数値が異なる場合がありますので、注意しましょう。
　　この問題はフェリスの図形の問題としては易しめです。
大問5　問題文の長さに圧倒されそうですが、比が使いこなせれば解けます。
大問6　平成13年度の大問6の数の性質に関する問題ほど難しくはありませんが、
　　この問題に取りかかる前に大問1～大問5の見直しを完璧にやった方がいいでしょう。

合否を分けた1題　大問2

Copyright © Tetsuya Miyamoto. All Rights reserved.